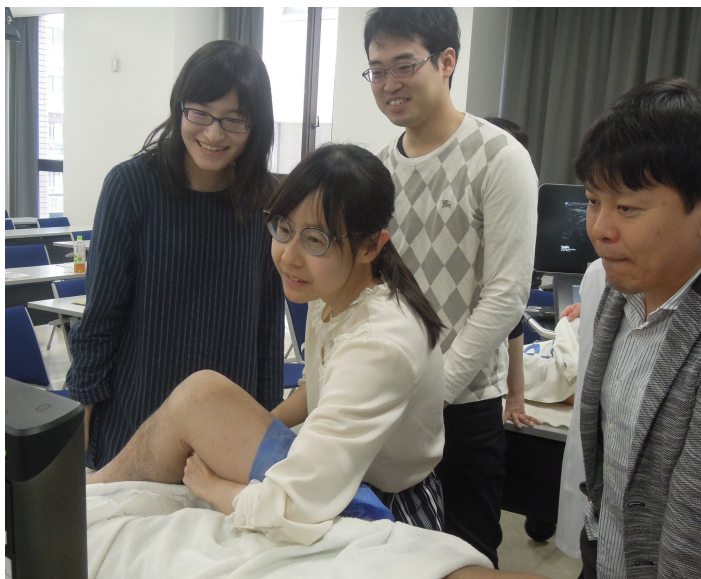


第5回札幌医大末梢神経ブロックセミナー を開催しました



充実した2時間になりました

6月16日土曜日、後期研修医対象の勉強会「札幌医大麻酔塾」の終了後に、末梢神経ブロックセミナーを開催しました。インストラクターは当講座から本間広則先生と汲田が、滝川市立病院から石岡慶己先生と立花俊祐先生が務めました。2時間のプログラムで上肢・下肢・体幹部の基礎的な神経ブロックについての講義と適切な超音波画像を描出するトレーニングや、穿刺キット（シュミレーター）を用いてブロック針を操作するトレーニングを行いました。

後期研修医8名と、2年目の初期研修医2名が参加し、和気藹々とした雰囲気の中でも参加者はインストラクターへの質問を交えながら非常に積極的に取り組んでいました。神経ブロックを習得する上では解剖や手技の知識が必要なのはもちろん、こういったトレーニングを行うことがとても大切です。今回は生体のモデルに対して超音波機器を当ててのトレーニングとなりましたが、超音波プローブの圧迫や角度を少し変えるだけで神経の描出が変わってくることを体験できたのではないのでしょうか。今回のセミナーで勉強したことをぜひ臨床に活かして欲しいと思います。

最後になりましたが、共催いただきました丸石製薬、富士フィルムメディカルの担当者様には事前の準備から当日の運営までご協力いただき、素晴らしいセミナーを開催することができました。ありがとうございました。